

邯鄲市石炭火力発電装置超低濃度排出

グレードアップ・改造

特別行動実施プラン

本市の石炭火力発電の省エネ・排出削減グレードアップ・改造及び大気汚染対策の強化を推進し、電力業界の大気汚染物質の排出を低減させるために、「河北省石炭火力発電装置超低濃度排出グレードアップ・改造特別行動実施プラン」に基づき、本市の実情に鑑み、市政府の承認を経て、本プランを作成した。

一、全体的な要求

「大企業が小企業を率い、分類別に推進」の原則に基づき、2015年末までに市全体の石炭火力発電装置の集じん、脱硫、脱硝施設の整備又は改造を終え、国の基準よりさらに厳しい超低濃度排出基準要件（以下、「河北省地方排出基準」と称す）を満たさなければならず、大気汚染物質の排出を削減し、電力業界の総量削減を促進し、区域の大気環境品質の効果的な改善を図るべきである。年末までに期限通りにグレードアップ・改造を完了し、河北省地方排出基準を達成することができない発電装置について、法に基づいて操業停止・閉鎖を命ずる。

二、重点目標

1、石炭火力発電装置新設時の規制の厳格化。全市範囲内の新設、及び建設中の石炭火力発電装置は必ず同時に先進的、高効率の集じん、脱硫及び脱硝施設を建設しなければならず、バイパスダクトを設置してはならない。大気汚染物質濃度は河北省地方排出基準を達成しなければならない。超低濃度排出グレードアップ・改造が実施されている石炭火力発電装置の場合は、「中華人民共和国環境影響評価法」及び「建設プロジェクト環境保護管理条例」などに基づいて環境影響評価審査の手続きを進め、河北省地方排出基準を厳格に実施しなければならない。

2、大規模な石炭火力発電装置のグレードアップ・改造の強力推進。「邯鄲市石炭火力発電省エネ・排出削減グレードアップ・改造実施プラン」に掲載されている5大石炭火力発電所（邯鄲熱電工場、馬頭発電所、龍山発電所、大唐武安発電所、邯峰発電所）については、すべての現役稼働中の石炭火力発電装置の超低濃度排出に関するグレードアップ・改

造プロジェクトは 2015 年末までの全体的完成に前倒ししなければならず、且つ、湿式電気集じん装置、1 塔デュアルループプロセス、2 塔デュアルループプロセスの脱硫装置及び低窒素バーナー、高効率の SCR 脱硝など、すでに技術審査評価が行われた、実施可能な、先進的、成熟した技術を採用して超低濃度排出グレードアップ・改造を実施し、すべての石炭火力発電装置が年末までに河北省地方排出基準を達成するよう確保しなければならない。

3、小規模な石炭火力発電装置のグレードアップ・改造を整然と実施。「邯鄲市石炭火力発電省エネ・排出削減グレードアップ・改造実施プラン」に掲載されている 12 の小規模火力発電所（武安 2 社、永年県 2 社、磁県 2 社、冀中能源峰峰グループ 4 社、冀中能源邯鉅グループ 2 社）については、関係各県（市、区）、冀中能源峰峰グループ、邯鉅グループが本地域・自社の小規模石炭火力発電装置の超低濃度排出グレードアップ・改造を担当する。旧型生産設備の淘汰及び排出削減改造計画を統一的に考慮し、天然ガス代替の前倒し実施と結び付けて、确实且つ実施可能な改造計画を作成し、超低濃度排出グレードアップ・改造を急ぎ、2015 年末までに大気汚染物質の排出濃度が河北省地方排出基準を満たすよう確保しなければならない。

三、政策措置

1、政策支援を強化。市の大気弁公室は市財政局と共同で報奨・補助政策の策定を検討し、大気汚染防止特別資金を利用し、年内にグレードアップ・改造を完了し、完了検査に合格した企業に対して資金面の支援を与える。石炭火力発電装置の燃料の熱量、ボイラーの燃焼方式、改造工事の技術路線など諸要素を総合的に勘案し、状況に応じて報奨・補助金の金額を定める。差別化汚染排出費徴収政策を実施し、企業が自家発電装置のグレードアップ・改造を実施するよう奨励する。市発展改革委員会、市工業と情報化局及び邯鄲電力公司是、積極的に上部機関と調整し、先に河北省地方排出基準を達成した石炭火力発電装置に対し、発電利用時間数を増やして、火力発電企業の超低濃度排出グレードアップ・改造のインセンティブを高める。

2、行政サービスの効果を高める。各関係県（市、区）、関係官庁は石炭火力発電装置超低濃度排出グレードアップ・改造に関する「優先通路」を設け、許認可の手続きを簡略化し、審査の時間を短縮し、プロジェクトの早期建設、早期着工、効果の早期発現を図る。邯鄲電力公司是、装置の点検修理計画の管理を強化し、石炭火力発電装置の改造実施中に市の電力供給を確実に保障し、科学的に、整然と超低濃度排出グレードアップ・改造作業を進めなければならない。

3、モニタリング施設の整備は規則・規範に則って実施する。超低濃度排出グレードアップ・改造を実施する際は、「発生源自動モニタリング管理規則」、「固定発生源排ガス連続モニタリング技術規範」などの規定を遵守し、環境施設の入口と総排出口において、排ガス連続モニタリングシステムを取り付ける又は改造し、稼働し、ダスト、二酸化硫黄、窒素

酸化物など汚染物質濃度及び酸素量、流速などプロセスパラメーターに関するモニタリングを実施すると同時に、省、市環境保護主管官庁のネットワークと接続し、リアルタイムにデータを伝送し、データ伝送の有用率要件を満たさなければならない。自ら又は資格を有する機構に委託して、排ガス流速、汚染物質の分布状況などを測定するうえ、代表的な測定点を定め、固定化させる。

四、実施促進

1、指導を強化する。石炭火力発電装置の超低濃度排出グレードアップ・改造は市大気弁公室が関係部局と連携して推進し、適時に課題を検討し、解決する。各関係県（市、区）政府、冀中能源峰峰グループ、邯鉦グループがしっかりと指導し、本地域・自社の実情と結び付けて、実施可能なプランを作成し、政策や資金面の支援を強化し、グレードアップ・改造のタイムテーブル、ロードマップを明確に作成し、計画的に推進することを確保しなければならない。

2、責任の主体を明確にする。各発電企業は超低濃度排出グレードアップ・改造の責任主体であり、汚染対策の責任を確実に履行し、省、市の関係官庁の指示に基づいて、本企業の超低濃度排出グレードアップ・改造計画を速やかに作成し、プロジェクトと資金を確定させ、期限から逆算して計画を立て、期限通りに目標を達成し、且つ施設の安定的な運転を確保しなければならない。5大石炭火力発電所は国有企業としてリードし、モデルとしての役割を果たし、前倒しで改造を完了すべきである。

3、実施中に細心の配慮をする。市大気弁公室は市发展改革委、邯鄲電力供給会社と共同で電力系統運用の特徴と法則に鑑み、区域の配置状況と結び付け、省が定めた各発電所の石炭火力発電装置改造の時間と順番に基づいて、ピーク時を回避し、交代で改造を行い、計画的に、順次に推進し、装置の改造と電力供給の両立を図るべきである。電力系統運用に対する監視を強化し、改造の実施に伴う電力供給不足の状況に対し、早期に準備し、対策を練り、外部からの電力購入増加を早めに調整し、グリッドの安定的な運転及び電力の安定的な供給を確保し、秩序を維持しなければならない。

4、定期検査と完了検査を強化する。市大気弁公室は関係官庁と共同で、定期的に石炭火力発電装置の超低濃度排出グレードアップ・改造状況に対して調整を行い、監督と検査を強化し、各地、各企業の改造の早期完成を促す。各関係県（市、区）、冀中能源峰峰グループ、邯鉦グループは月報という形の報告制度を構築し、プロジェクトの進捗状況について適時に把握し、月初めの5営業日以内に、前月の進捗状況を大気弁公室へ報告する。各関係県（市、区）の環境保護官庁はその管理権限に基づいて、速やかに完了時の環境特別検査を実施する。環境特別検査は関連規定を厳格に守り、基準を下げてはならない。市大気弁公室は指導と監督を強化し、適時に抜き取り検査を実施し、問題を発見した場合は厳しく処分する。

5、考課と賞罰を厳格に実施する。市政府は石炭火力発電装置の超低濃度排出グレードア

ップ・改造の完成状況を 2015 年大気汚染防止業務考課内容に組み入れる。期限通りに、または前倒しで目標を達成したものを表彰し、責任が不明確、実施が不十分で、期限通りに目標を達成できていないものに対し、厳しく責任を問うとともに、全市範囲で公表する。

別添：邯鄲市 2015 年石炭火力発電装置の超低濃度排出グレードアップ・改造計画表

邯鄲市大気汚染防止業務指導グループ弁公室

2015 年 4 月 16 日

出典：<http://www.hbj.hd.gov.cn/tabid/191/InfoID/35964/frtid/138/Default.aspx>